災害に強い森づくり事業の実績

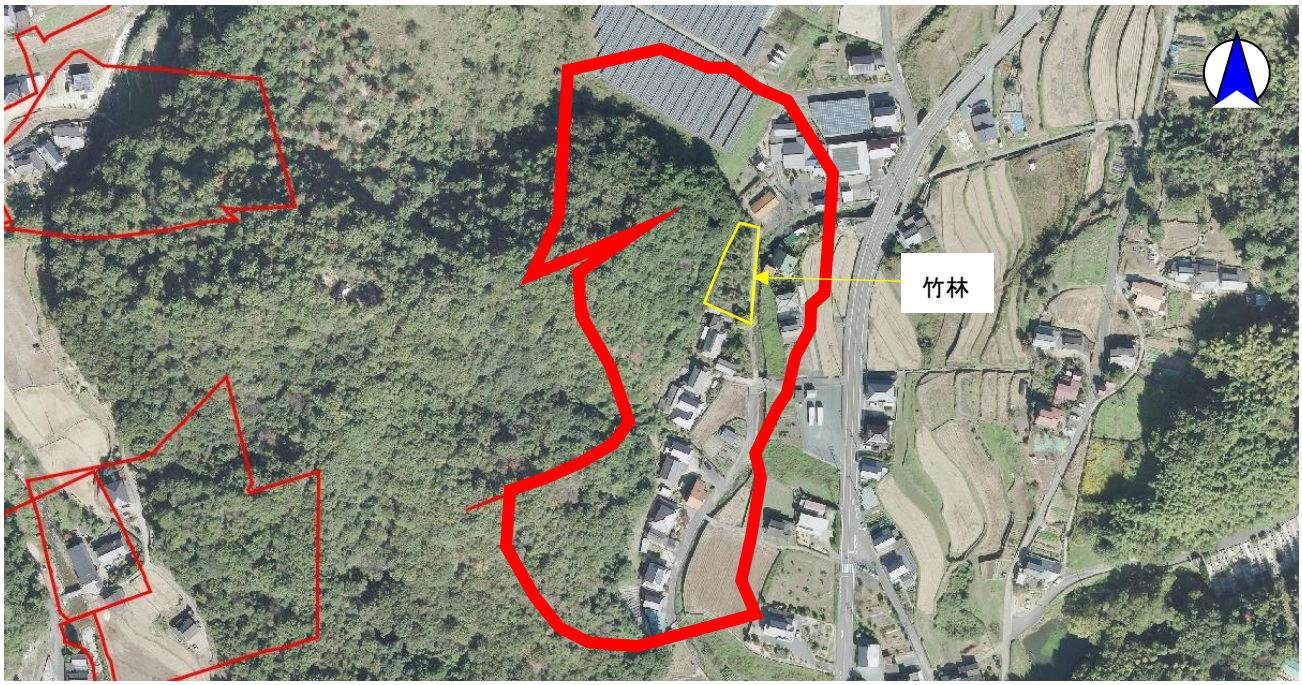
2022 年度（令和 4 年度）～2025 年度（令和 7 年度）

【整備場所の位置図】



整備場所	面積（ha）	整備年度
①加茂町神末	1.21	2022
②神辺町名越	0.79	
③芦田町久田谷	1.43	
計	3.43	
④千田町鳥山	0.72	2023
⑤沼隈町阿伏兎	1.30	
⑥本郷町	1.45	
⑦坪生町	1.09	
計	4.56	
⑧新市町新市	1.09	2024
⑨加茂町芦原	1.58	
⑩神辺町久熊	2.30	
⑪沼隈町常石	1.46	
計	6.43	
⑫新市町志和井	1.41	2025
⑬田尻町	1.44	
⑭駅家町服部本郷	3.24	
計	6.09	

① 加茂町神末



【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・カシ（常緑広葉樹）、コナラ、桜、リョウブ（落葉広葉樹）の広葉樹林帯
樹木	・樹高１０m程度、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が密集し、樹冠が塞がっている。 ・尾根付近は落葉広葉樹が多く光条件はよい。麓付近はカシが多く生え、暗い。 ・不良木や枯損木、枯れ松による倒木が多く見受けられ、山の麓に竹林が密生している。
表土	・地表の露出が見られ、表土が雨に流れやすい状況にある。

【整備した内容】

◎常緑広葉樹が多い中で、落葉広葉樹の健全な成長を目的とした森林整備

①森林の除伐（８ｃm以下）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②樹高１０m程度であり、成長がよい木を残すことを基本に樹間２．５m～３．０m程度で間伐

→伐採本数　１，１４４本、間伐率　３２．６％

③竹林の伐採（１，２６３本）、樹木粉砕機によるチップ化

【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】

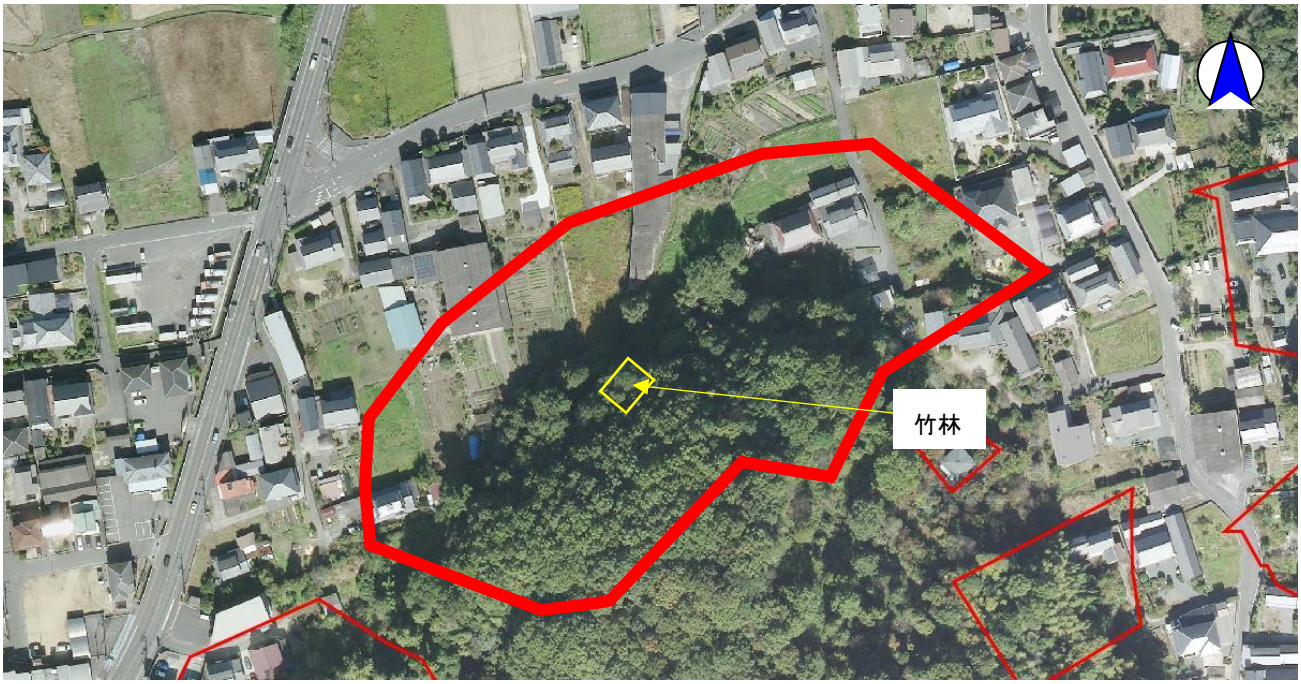


▲竹林の伐採

【整備後】



② 神辺町名越



【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・クヌギ（落葉広葉樹）を主とした、ソヨゴ、カシ（常緑広葉樹）を含む広葉樹林帯
樹木	・樹高１０m程度、クヌギは胸高直径２０ｃm程度で大木もある程度ある。 ・クヌギは枯損木が見受けられ、倒木により立木の成長を阻害している状況がある。 ・尾根付近は水分も少なく樹高も低い。光条件はよい。 ・山の麓に竹林が密生している場所がある。
表土	・下層植生が少なく地表の露出が見られ、表土が雨に流れやすい場所が見られる。

【整備方法】

◎クヌギを主とした落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木等の除伐、倒木処理を中心とした森林整備

①森林の除伐（８ｃm以下）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②樹高１２m～１５m程度で、成長がよい落葉広葉樹を残すことを基本に樹間を２．５m～３．５m程度として、競合した樹木を伐採。

→伐採本数　３４３本、間伐率　１９．７％

③尾根付近は、山全体に光が当たるように多く伐採して光環境を改善。

④樹木がない場所は、８ｃm以下も残すようにした。

⑤竹林の伐採（２０４本）

【整備前】



【整備後】



【整備前】



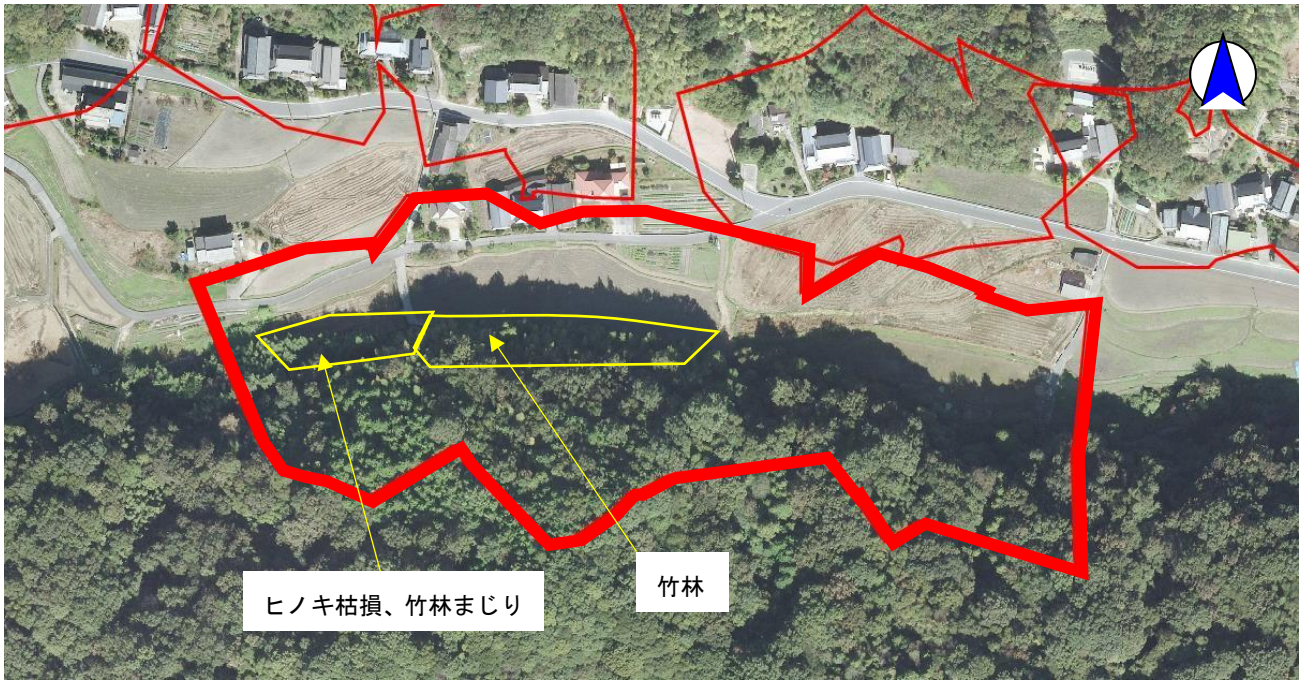
【整備後】



【整備後】



③ 芦田町久田谷



【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・カシ（常緑広葉樹）を中心に、クヌギ、クリ（落葉広葉樹）を含んだ広葉樹林帯で、ネズミサシ（針葉樹）やスギ・ヒノキの人工林もある。
樹木	・樹高１０m程度、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が多いが、２０ｃm以上の大径木も多い。 ・山の方位が北向きであり、林内は暗く、下層植生が育ちにくい状況 ・つる植物が多い。不良木や枯損木も多く、倒木も見受けられる。 ・山の麓から広範囲に竹が侵食してきている。 ・谷地形の場所が３か所程度存在し、スギが植栽されている。
表土	・地表露出により、表土が雨で流れやすい状況にある。

【整備方法】

◎落葉広葉樹の健全な成長を主とし、下層植生の豊富な広葉樹と針葉樹（スギ・ヒノキ）の混じった森林（針広混交林）になることを目的とした森林整備

①８ｃm以下の木の伐採、つるの処理、枯れた木、倒木処理

②成長がよい広葉樹とスギやヒノキの人工林を残すことを基本に、樹間を２．５m～３m程度としてカシの木（常緑広葉樹）、横に曲がっている樹木を中心に伐採

→伐採本数　６１７本、間伐率　１６．０％

③竹林の伐採（１，４０３本）

④ヒノキ・スギは、枯れた木など伐採が必要なものを処理

【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備後】



④ 千田町烏山



【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・コナラ、クヌギ、サクラ（落葉広葉樹）、カシ（常緑広葉樹）からなる広葉樹林帯
樹木	・樹高２０m弱、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が密集し、樹冠が塞がっている。 ・不良木や枯損木、松枯れ等による倒木が多く見られる。 ・一部のカシ、コナラにナラ枯れの兆候が見られる。 ・通学路があり、樹木等が伸びて圧迫している状況にある。
表土	・地表露出により、表土が雨で流れやすい状況にある。

【整備方法】

◎コナラを主とした落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木等の除伐、倒木処理を中心とした森林整備

①森林の除伐（８ｃm以下）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②成長がよい落葉広葉樹を残すことを基本に、樹間を２．５m～３．０m程度とし、カシを中心に伐採。

→伐採本数　３０５本、間伐率　１８．４％

③通学路の支障となる樹木の伐採

④ナラ枯れ被害木の伐採及び搬出処分。

⑤竹林の伐採（６５６本）

【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備後】



⑤ 沼隈町阿伏兎



【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・ネジキ（落葉広葉樹）、シャシャンボ（常緑広葉樹）など小高木からなる広葉樹林帯
樹木	・樹高１０m程度、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が密集し、樹冠が塞がっている。 ・林内の光環境は暗く、下層植生はシダ類が２m以上の高さで被圧し、立木はやせ細ったものが多い。 ・不良木や枯損木が全体的に見受けられ、枯損木の多くが倒木となっている。 ・隣接地に駐車場があり、樹木の枝等が伸びて圧迫している状況にある。
表土	・地表はシダ類で覆われているが、谷地形などでは表土が露出し、雨で流れやすい状況にある。

【整備方法】

◎落葉広葉樹の健全な成長を主とし、修景景観にも留意した、特定樹種の間伐ではなく不良木・枯損木等の除伐、倒木処理を中心とした森林整備

①森林の除伐（８ｃm以下）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②樹間を２．５m～３．０m程度とし、ネジキ、アオギ、ウバメガシ、リョウブを中心に伐採。

→伐採本数　６９１本、間伐率　２３．１％

【整備前】



【整備後】



【整備前】



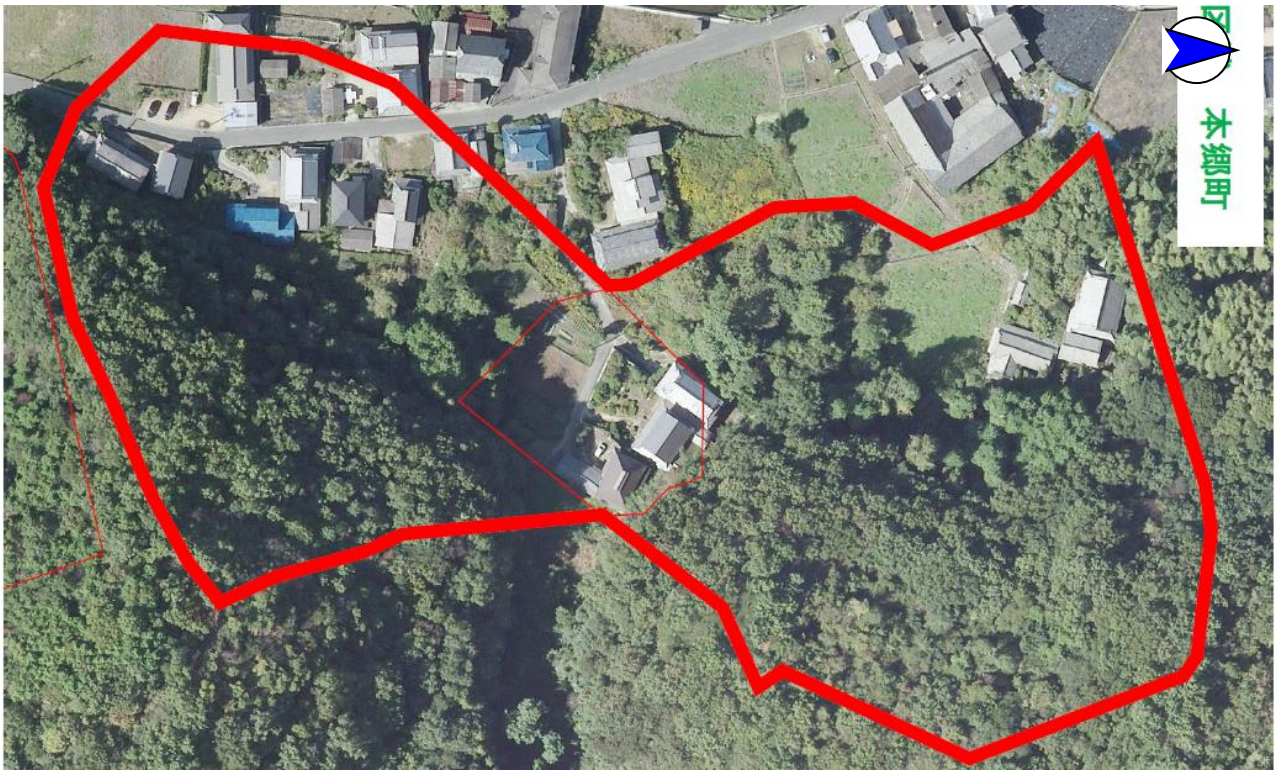
【整備後】



【整備後】



⑥ 本郷町



【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・コナラ、サクラ（落葉広葉樹）中心の樹種に、カシ（常緑広葉樹）も含めた落葉・常緑からなる広葉樹林帯
樹木	・樹高１０～２０m程度、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が密集しているが、一部整備跡が見られる。 ・不良木や枯損木、松枯れ等による倒木が多く見られる。 ・ナラ枯れの兆候はなかった。 ・施業地の上部は、灌木及び成長不良の樹木が密集している。
表土	・地表露出により、表土が雨で流れやすい状況にある。

【整備方法】

◎コナラ、サクラを主とした落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木等の除伐、倒木処理を中心とした森林整備

①森林の除伐（８ｃm以下）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②成長がよい落葉広葉樹を残すことを基本に、樹間を２．５m～３．０m程度とし、カシを中心に伐採。

→伐採本数　３８８本、間伐率　１０．７％

③ヒノキなどの人工林は伐採しない。（枯れた木、倒木を処理）

【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備後】



⑦ 坪生町



【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・コナラ、(落葉広葉樹)、カシ（常緑広葉樹）からなる広葉樹林帯
樹木	・樹高１０m～２０m、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が密集し、樹冠が塞がっている。 ・不良木や枯損木、松枯れ等による倒木が見られたが、ナラ枯れは確認されなかった。 ・集会所があり、直径８０ｃm以上の大径木が圧迫している状況にある。
表土	・地表露出により、表土が雨で流れやすい状況にある。

【整備方法】

◎コナラを主とした落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木等の除伐、倒木処理を中心とした森林整備

①森林の除伐（８ｃm以下)、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②成長がよい落葉広葉樹を残すことを基本に、樹間を２．５m～３．０m程度とし、カシを中心に伐採。

→伐採本数　４５８本、間伐率　２２．１％

③山裾の大径木の伐採

【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】

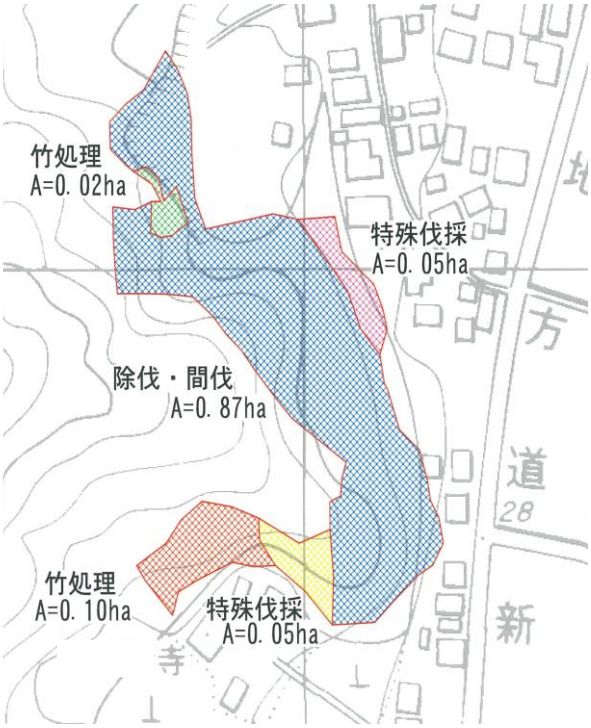


【整備後】



⑧ 新市町新市





【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・カシ（常緑広葉樹）、コナラ、クヌギ、サクラ（落葉広葉樹）の広葉樹林帯
樹木	・樹高１０m程度、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が密集し、樹冠が塞がっている。 ・林内光環境は暗く、下層植生は育たない環境。 ・不良木や枯損木、枯れ松による倒木が多く見受けられた。 ・施業区域内の道路に樹木等が越境していた。
表土	・地表の露出が見られ、表土が雨に流れやすい状況にある。

【整備した内容】

◎落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木の除伐等を中心とした森林整備

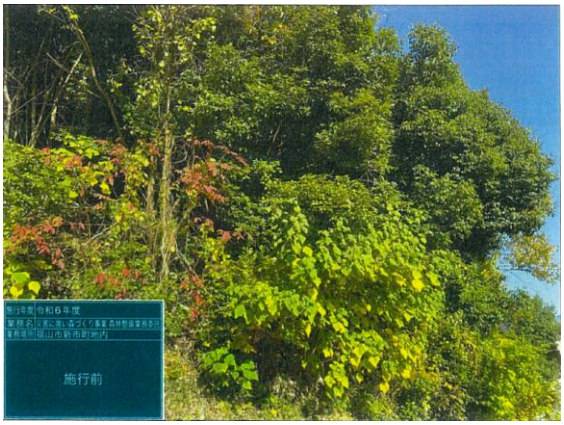
①除伐（８ｃm未満）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②間伐（伐採本数　２４２本、間伐率　１１．１％）

③竹林の伐採（６１５本）、樹木粉砕機によるチップ化

④道路上に越境している樹木を伐採

【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



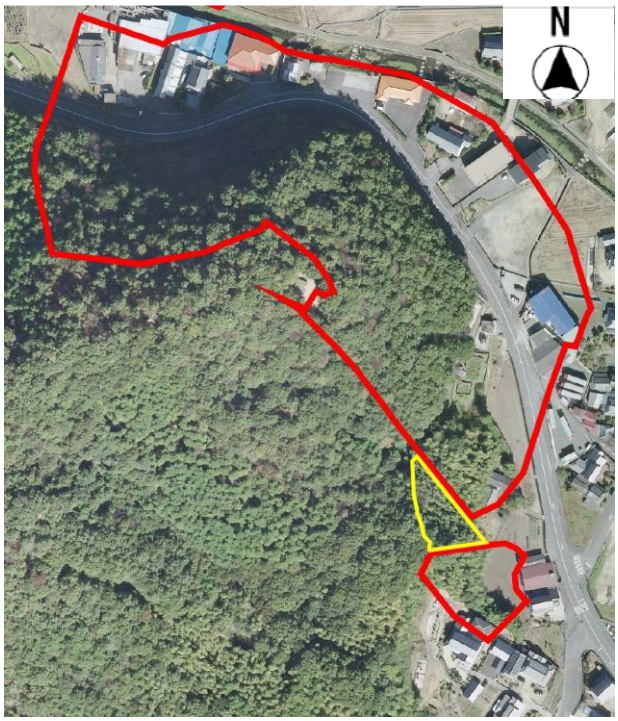
【整備前】



【整備後】



⑨ 加茂町芦原





【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・コナラ、クヌギ、サクラ（落葉広葉樹）、カシ（常緑広葉樹）の広葉樹林帯
樹木	・樹高１０～２０m、胸高直径１０～３０ｃm程度の樹木が密集し、樹冠が塞がっている。 ・不良木や枯損木、枯れ松等による倒木が多く見受けられた。 ・森林内に竹が侵入し、密集しているエリアがあった。 ・施業区域内の道路に樹木等が越境していた。
表土	・地表の露出が見られ、表土が雨に流れやすい状況にある。

【整備した内容】

◎落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木の除伐等を中心とした森林整備

①除伐（８ｃm未満）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②間伐（伐採本数　４１０本、間伐率　１４．５％）

③竹林の伐採（４，０７７本）、樹木粉砕機によるチップ化

④道路上に越境している樹木を伐採

【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】



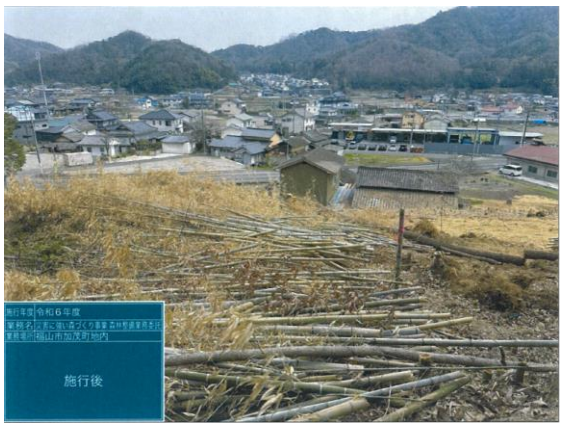
【整備後】



【整備前】

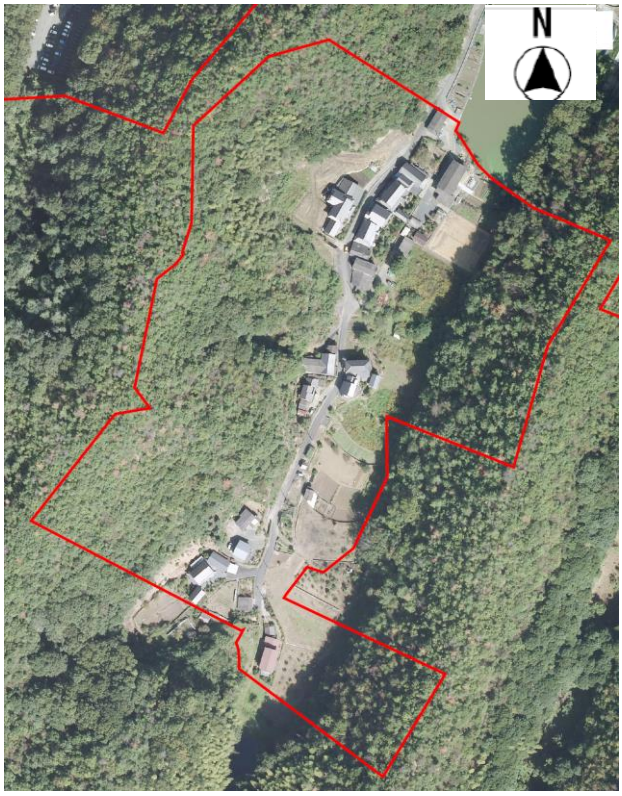


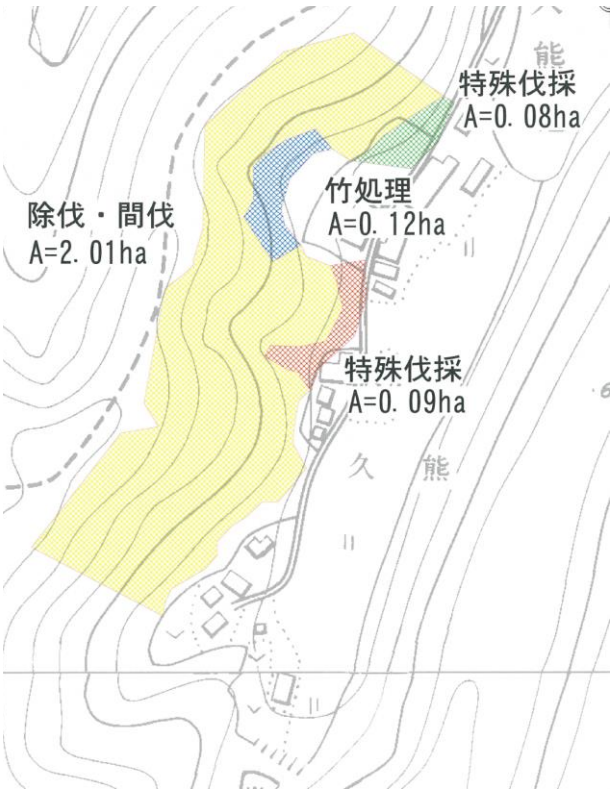
【整備後】



▲竹林の伐採

⑩ 神辺町久熊





【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・カシ（常緑広葉樹）、コナラ、クヌギ、サクラ（落葉広葉樹）の広葉樹林帯
樹木	・樹高１０m程度、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が密集し、樹冠が塞がっている。 ・林内光環境は暗く、下層植生は育たない環境。 ・不良木や枯損木、枯れ松による倒木が多く見受けられた。
表土	・地表の露出が見られ、表土が雨に流れやすい状況にある。

【整備した内容】

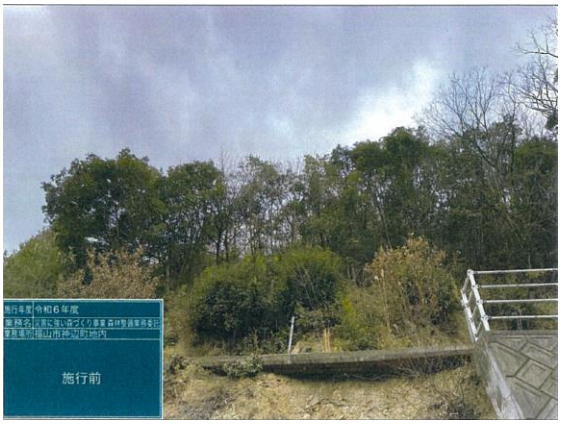
◎落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木の除伐等を中心とした森林整備

①除伐（８ｃm未満）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

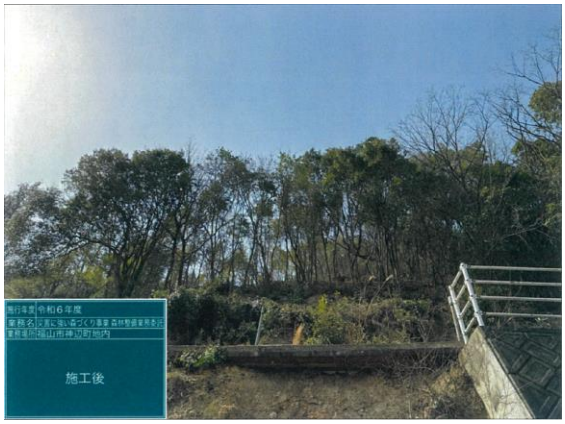
②間伐（伐採本数　８７２本、間伐率　１４．５％）

③竹林の伐採（５４０本）、樹木粉砕機によるチップ化

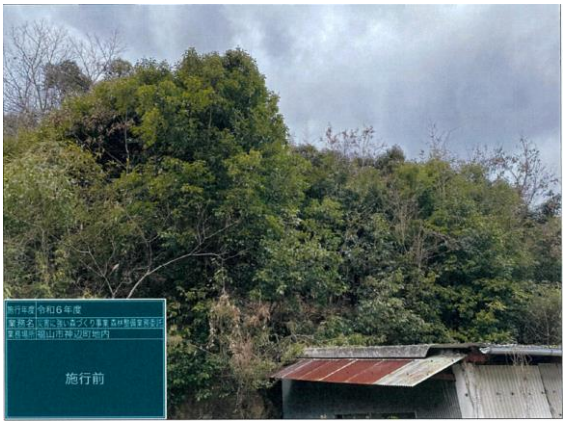
【整備前】



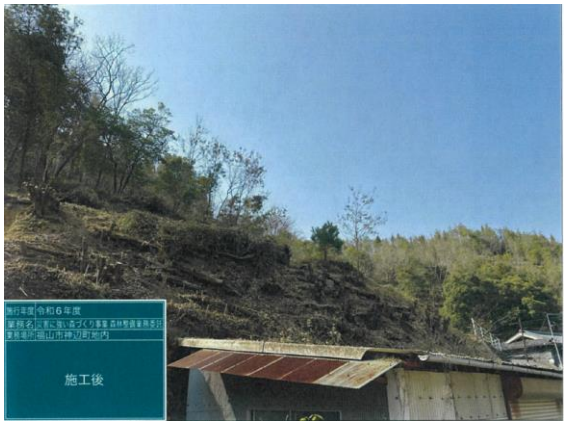
【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】

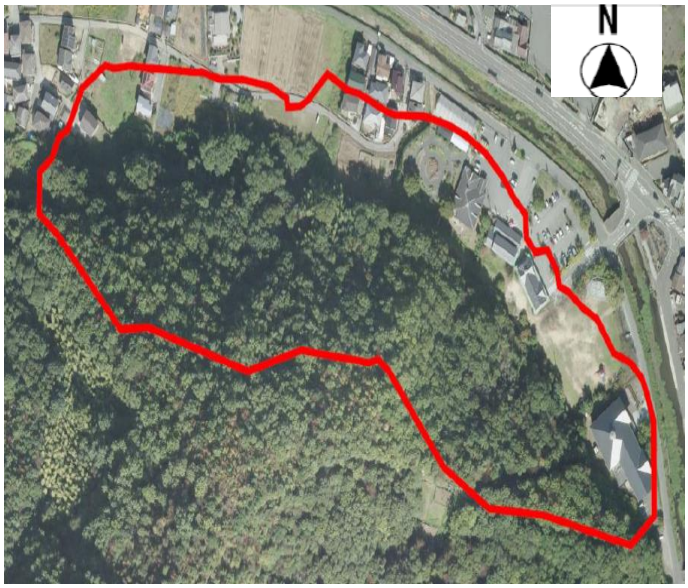


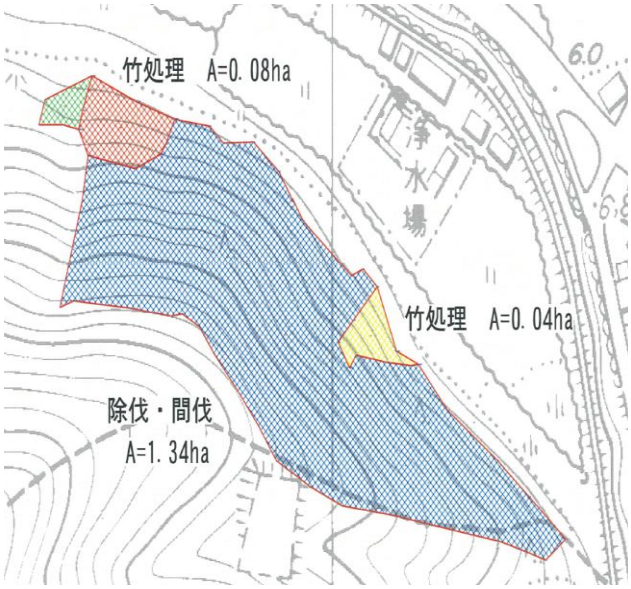
【整備後】



▲竹林の伐採

⑪ 沼隈町常石





【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・コナラ、サクラ（落葉広葉樹）、カシ（常緑広葉樹）の広葉樹林帯
樹木	・樹高１０m程度、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が密集し、樹木の多くが株立ちし、干渉し合っていた。 ・林内光環境は一部を除き、下層植生は育たない環境。 ・不良木や枯損木、枯れ松による倒木が多く見受けられた。
表土	・地表の露出が見られ、表土が雨に流れやすい状況にある。

【整備した内容】

◎落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木の除伐等を中心とした森林整備

①除伐（８ｃm未満）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②間伐（伐採本数　８７３本、間伐率　３４．３％）

③竹林の伐採（１，２００本）、樹木粉砕機によるチップ化

【整備前】



【整備後】



【整備前】



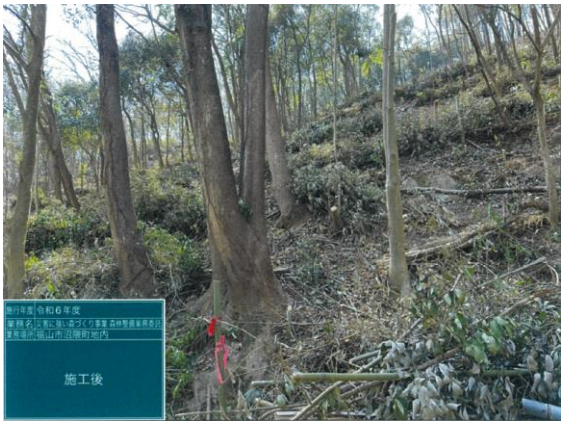
【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】

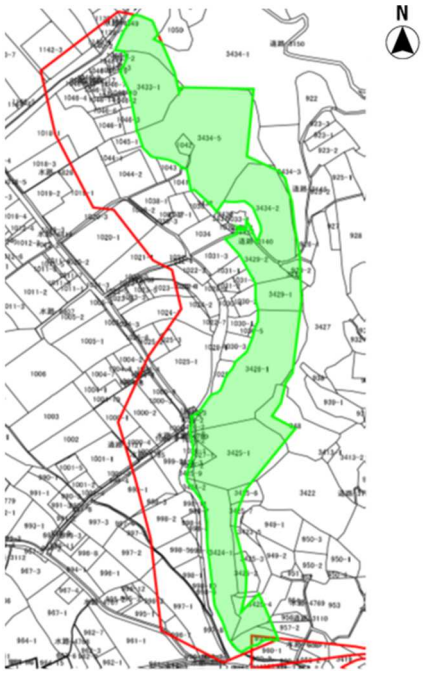


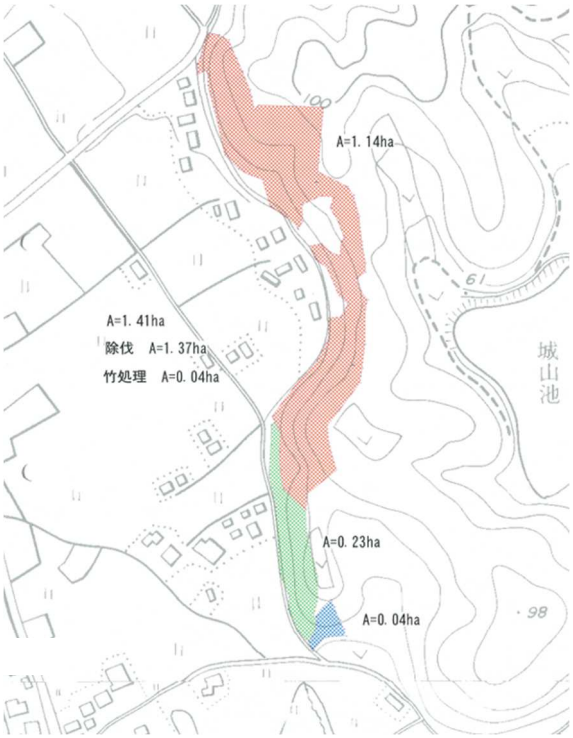
【整備後】



▲竹林の伐採

⑫ 新市町志和井





【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・コナラ、カシ、サクラ等の落葉・常緑広葉樹からなる広葉樹林帯
樹木	・樹高１０m程度、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が密集し、樹冠が塞がっている。 ・林内光環境は暗く、下層植生は育たない環境。 ・不良木や枯損木、枯れ松による倒木が多く見受けられた。 ・施業区域内の道路に樹木等が越境していた。
表土	・地表の露出が見られ、表土が雨に流れやすい状況にある。

【整備した内容】

◎落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木の除伐等を中心とした森林整備

①除伐（８ｃm未満）、民家裏等の大径木を中心に伐採

②竹林の伐採（３３２本）、樹木粉砕機によるチップ化

③道路上に越境している樹木を伐採

【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



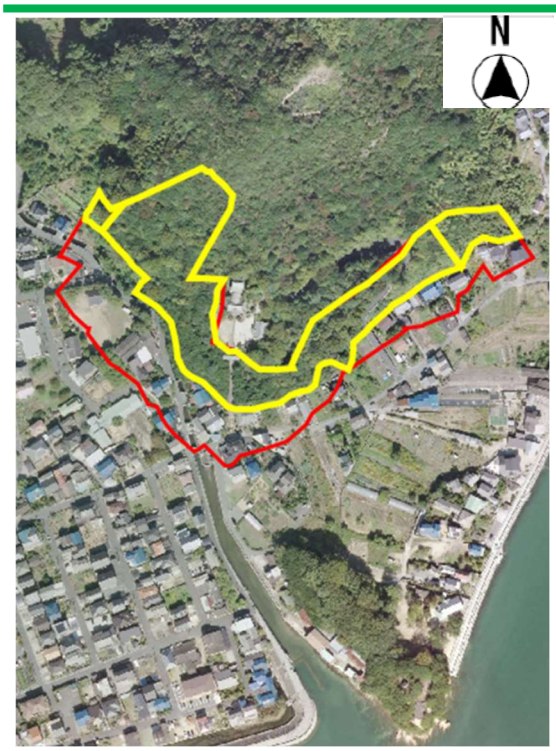
【整備前】

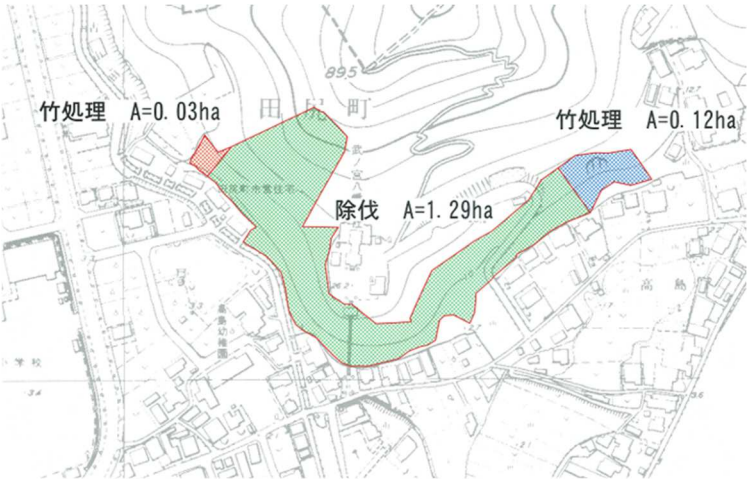


【整備後】



⑬ 田尻町





【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・コナラ、ヒノキ、カシ等の落葉・常緑広葉樹からなる広葉樹林帯
樹木	・樹高１０～２０ｍ、胸高直径１０～３０ｃｍ程度の樹木が密集し、樹冠が塞がっている。 ・不良木や枯損木、枯れ松等による倒木が多く見受けられた。 ・南側の山際は大径の高木が連なっていた。 ・施業区域内の道路に樹木等が越境していた。
表土	・地表の露出が見られ、表土が雨に流れやすい状況にある。

【整備した内容】

◎落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木の除伐等を中心とした森林整備

①除伐（８ｃｍ未満）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②竹林の伐採（２，１４５本）、樹木粉砕機によるチップ化

③民家裏の危険木や道路上に越境している樹木を伐採

【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】



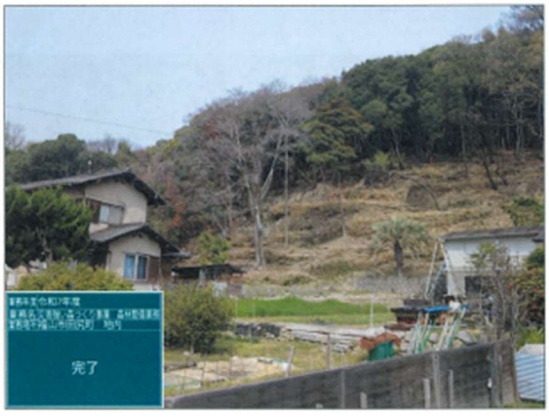
【整備後】



【整備前】

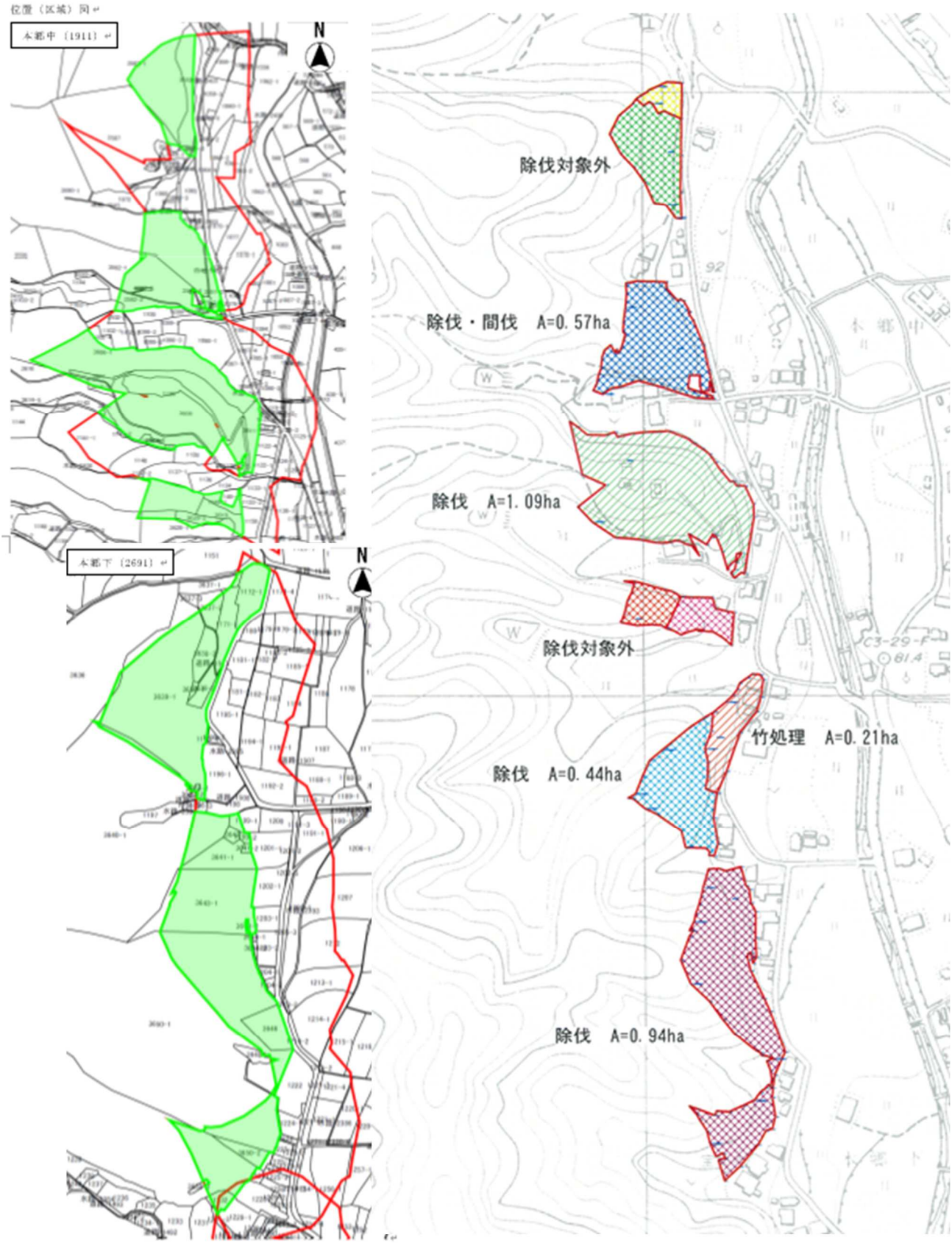


【整備後】



▲竹林の伐採

⑭ 駅家町服部本郷


位置（区域）図
本郷中（1911）
本郷下（2691）
N
N
除伐対象外
除伐・間伐　A=0.57ha
除伐　A=1.09ha
除伐対象外
竹処理　A=0.21ha
除伐　A=0.44ha
除伐　A=0.94ha

【森林の特長】

項目	森林内の状況
樹種	・コナラ、カシ等の落葉・常緑広葉樹からなる広葉樹林帯
樹木	・樹高１０～１６m程度、胸高直径１０～２０ｃm程度の樹木が主だが、４０ｃm程度の樹木も多くみられた。 ・林内光環境は暗く、下層植生は育ちにくい環境。 ・不良木や枯損木が多く、倒木も見受けられる。一部では竹の浸食もしている。
表土	・地表の露出が見られ、表土が雨に流れやすい状況にある。

【整備した内容】

◎落葉広葉樹の健全な成長を主とし、不良木・枯損木の除伐等を中心とした森林整備

①除伐（８ｃm未満）、不良木、枯損木の伐採、倒木処理

②間伐（伐採本数　２７２本、間伐率　２０．７％）

③竹林の伐採（１，１３４本）、樹木粉砕機によるチップ化

【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備後】



▲竹林の伐採